



幼い頃から宇宙が好きで清水建設へ関心を持ったのも、同社が構想する「ルナリング」がきっかけだった。月面に太陽光発電所を建設し、地球に

宇宙開発の伝統を未来へ

清水建設 フロンティア開発室宇宙開発部

ふじい えみか
藤井 咲花さん

送電するという斬新な発想に驚かされた。大企業でありながら「柔軟なアイデアを受け入れてもらえる」という社風も感じ取り、2021年に入社した。

所属する宇宙開発部は事業の社内PRなどを担う。直近では、同社も出資した民間ロケット「カイロス」の打ち上げで、パブリックビューイングイベントの企画に携わった。社員の家族も楽しめるよう工作やクイズを用意。当日は多くの参加者でにぎわい「宇宙開発部の仕事を家族にも知ってもらえて良かった」と振り返る。

今後の目標は「一緒に仕事や研究をしたいと言われるような得意分野を持つ」こと。現在、月面基地に関する研究の博士号取得に向け、休日に大学院へ通う生活を続ける。年内には米航空宇宙局(NASA)などへの留学も予定している。宇宙の魅力は「まだ正解がなく、知的好奇心を満たし続けられる」部分にある。さらなる知識の探究へ歩みは止めない。

